

1. 要素リストアップ

メニュー[ツール]-[要素リストアップ]にオプション「異なる Z 値がある(水平でない)面・線」「リストアップ(高い方から)」を追加しました。

The screenshot shows the '要素リストアップ' dialog box with the following settings:

- データタイプ:** E1面, E2線, E3円, E4円弧, E5点, E6方向, E7注記, E8属性 (all checked).
- 分類コード:** すべての分類コード (selected).
- 2次元、3次元:** 2次元と3次元すべて (selected).
- 図形区分:** すべての図形区分 (selected).
- 間断区分:** すべての間断区分 (selected).
- 面(E1),線(E2)の点数:** 点数は問わない (selected).
- 面(E1),線(E2)の長さ・面積:** 長さは問わない (selected).
- その他の条件:** 注記の数値の小数点以下桁数が1 (checked).
- 処理:** リストアップ(順次) (selected).

【異なる Z 値がある(水平でない)面・線】 面(E1)と線(E2)について、2点以上の要素で、Z 値が異なる点があれば、その要素をリストアップします。面と線以外の要素はリストアップの対象外になります。例えば、分類コードが 7101-7108 以外の等高線の場合、3次元の建物など、同じ Z 値になっていないケースを抽出できます。

【リストアップ(高い方から)】 Z 値が高い方 (Z 値が大きい) 方からリストアップします。道路など Z 値が異なる要素の場合、最も高い点の Z 値を参照します。2次元の要素は Z=-999.0 として後の方になります。チェックリすとには Z 値を表示します。例えば、分類コードが 7101-7108 以外の等高線をリストアップして、Z 値が誤っていないかを調べることができます。